

保護者 様

各務原市立川島小学校
校長 河合 洋尚

令和5年度 学校評価の集計について（ご報告）

保護者の皆様を実施させていただきましたアンケートをまとめましたので報告します。この結果をもとに、学校の教育活動の一層の充実を図るよう職員一丸となって取り組んでまいります。さらに家庭・地域・学校が手を携えて、子どもたちの成長を支えていけるよう、今後ともご協力をお願いします。

また、保護者の皆様からいただいたご意見やご要望につきましては、全職員で目を通させていただきます、今後の学校運営の改善を図っています。

1 【学校・教職員の姿】 学校の教育活動等について

	質問の内容	そう 思う	やや 思う	あまり 細かい	まったく 細かい	分から ない	R 5 割合		過去のAB割合	
							AB	CD	R 4	R 3
1	学校は、学校・学級だより、授業参観、ホームページなどで、学校や子どもの様子がよくわかるように努めている	28%	53%	13%	2%	3%	82%	15%	95%	94%
2	教職員は、保護者との連絡を密に行い、保護者とともに子どもを育むように努めている	36%	43%	13%	2%	6%	79%	15%	85%	85%
3	教職員はいじめ防止に努め、よさを積極的に認め励ますなど、一人一人を大切にされた指導を行っている	32%	39%	10%	2%	17%	71%	12%	75%	76%
4	教師は、授業を工夫し、子どもに分かりやすいように教え、学力向上に努力をしている	34%	41%	7%	2%	17%	74%	9%	80%	76%
5	学校は、学校行事（遠足・運動会など）を工夫し、生き生きとした教育活動を行っている	37%	50%	7%	2%	5%	86%	9%	91%	88%
6	学校は、健康で安全な学校生活（けが・病氣予防）に努めている	37%	47%	5%	2%	8%	85%	7%	91%	90%
7	教室、校舎内、校庭などは、美しく安全に整備されている	31%	50%	9%	1%	8%	82%	10%	89%	87%
8	幼保小中学校の連携を積極的に進めている	28%	33%	8%	3%	29%	61%	11%	66%	60%

2 【子どもの姿】 お子様（我が子）の様子について

項目	質問の内容	そう 思う	やや 思う	あまり	まったく 思わない	分から ない	R 5 割合		過去のAB割合	
							AB	CD	R 4	R 3
明るい 笑顔	1 家族や地域の方への明るいあいさつの習慣が身に付いている	21%	48%	27%	4%	1%	68%	31%	77%	74%
	2 温かい言葉遣いが身に付いている	18%	47%	30%	4%	1%	65%	34%	69%	69%
	3 友達と仲良くすごしている	49%	42%	6%	1%	2%	91%	7%	92%	92%
	4 学校のきまりや家族や友達との約束を守っている	30%	52%	15%	2%	2%	82%	17%	86%	83%
	5 ボランティア活動に進んで取り組んでいる	12%	35%	37%	10%	6%	47%	47%	47%	47%
楽しい 笑顔	6 意欲的に授業に臨んでいる	22%	47%	21%	4%	7%	68%	25%	74%	75%
	7 立腰姿勢（足ピタ・背筋ピン）が身に付いている	11%	31%	41%	10%	7%	43%	51%	51%	49%
	8 鉛筆を正しく持って、ていねいに字を書いている	17%	38%	34%	9%	2%	55%	43%	60%	55%
	9 積極的に挙手発言ができています	17%	39%	31%	6%	7%	55%	37%	55%	54%
	10 タブレットを上手に活用して学習している	14%	45%	21%	6%	14%	59%	27%	69%	75%
	11 タブレット・スマホ・ゲーム等、ルールを守って使っている	21%	39%	30%	10%	1%	60%	40%	61%	61%
12 進んで家庭学習に取り組んでいる	18%	41%	28%	12%	1%	59%	40%	58%	59%	
元気な 笑顔	13 元気よく登校する習慣が身に付いている	41%	44%	10%	4%	1%	85%	14%	87%	86%
	14 安全に登下校ができています	43%	43%	8%	2%	3%	86%	10%	88%	87%
	15 安全な学校生活を心がけている（けが・コロナ感染予防等）	38%	49%	8%	1%	4%	87%	9%	93%	91%
	16 一生懸命そうじに取り組んでいる	22%	36%	12%	2%	29%	58%	14%	62%	75%

*回収：629名、回収率：81.3% *青字：80%を超えている（成果）、赤字：50%に達していない（課題）

子どもが成長したと思うこと【保護者】※複数意見

【ともだちルーム】

<生活>

- ・自分のやることをいわなくてもやるようになった。
- ・少し考えて行動できるようになってきた。
- ・失敗した後も一緒に振り返りができるようになりました。
- ・周りを見て行動できるようになった。
- ・友だちや先生方と自分からコミュニケーションをとろうとする姿が増えた。

<学習>

- ・落ち着いて座って学習できるようになってきた。
- ・少しずつ授業に前向きに取り組めることが増えてきた。
- ・勉強にすごく興味を持って、自ら学習するようになった。
- ・言葉で伝えることが多くなった。
- ・漢字や計算が身につく、スピードも速くなった。

【1年生】

<生活>

- ・自分のことは自分でするという意識が付き、行動できるようになった。明日の準備、宿題など。
- ・時間を守って帰ってくるようになるなど、時間を見て行動できるようになった。
- ・自分からすすんで学校のことを話すようになった。
- ・進んでお手伝いをするなど、ボランティアに積極的に取り組むようになった。
- ・自分の気持ちだけでなく、周りを見て言動を考えるようになった。

<学習>

- ・自分からすすんで宿題や学びノートをするようになった。毎日こつこつと勉強をする習慣がついた。
- ・目標を決めて、達成に向けてできることをするようになった。
- ・自分に自信を持てるようになり、授業中に発表できるようになった。
- ・人前で話すことが苦手だが、係の仕事を通してチャレンジするようになった。
- ・夏休みに自分で決めたことを今も欠かさず続けている。

【2年生】

<生活>

- ・自分からすすんで身支度・準備や先読み行動ができるようになった。
- ・自分の思っていることや困っていることを周りに伝えることができるようになってきた。
- ・自分とは違った他者がいて、その他者と自分との違いを理解し、違っていいとわかるようになった。
- ・誰かが困っているときに声をかけたりやさしい行動をとったりできるようになってきたこと。
- ・登下校時に元気よくあいさつができるようになった。

<学習>

- ・勉強に目標を持って取り組むことができるようになった。
- ・九九や漢字など、学習に意欲的になった。
- ・言われなくても自分で考えて、進んで宿題ができるようになった。帰るとすぐに取りかかる。
- ・集中して家庭学習に取り組むようになった。
- ・学びノートが増えて、自分で内容を考えてやることができるようになった。

【3年生】

<生活>

- ・自分の考えを話したり、人の話に興味を持って聞いたりするようになり、家で話すようになった。
- ・自分でがんばりたいことをメモしたり、挑戦する気持ちをもったりして、行動できるようになった。
- ・人の気持ちを考えて行動できるようになった。
- ・困っている友だちや通学班の下学年に声をかけたり、積極的に手伝いをしたりするなど優しさが育った。
- ・時間を守る、ルールを守る、約束を守るなど、責任ある行動が増えてきた。

<学習>

- ・学級活動に積極的に参加するようになった。
- ・自分なりに計画を立てて、進んで宿題やテスト勉強、学びノートを行うようになった。
- ・学校で学んだことを家でもう一度やってみたり、自分で考えて発展させてチャレンジしたりしている。
- ・学校での授業、活動をとて前向きに捉え、取り組み、楽しめるようになった。
- ・授業中によく手を挙げて発表するようになった。

【4年生】

<生活>

- ・物事に対して目標を持って積極的に行動したり取り組んだりできるようになった。
- ・近所の人に、自分からすすんであいさつができるようになった。
- ・うまくいかなかったことに対してあきらめず、次は頑張るという前向きな気持ちを持てるようになった。
- ・自らみんなを率先する役割を果たしたいと考え、リーダーとして行動できるようになった。
- ・相手の気持ちを考えて汲みとるなど、優しい気持ちで人とうまく関われるようになってきた。
- ・仲間や家族、下学年のために積極的に頑張ったり助けたりできるようになった。

<学習>

- ・発表する力がついて、挙手・発言が多くできるようになった。
- ・授業に前向きになり、姿勢や態度がとてよくなった。
- ・宿題や学びノートなど、意欲的に取り組むようになった。
- ・自分の好きなことや興味のあることは本やタブレットで調べ、知識を身につけようとしている。
- ・自分で計画して、家庭学習をできるようになった。

【5年生】

<生活>

- ・物事の善し悪しを自分なりに理解して判断ができるようになった。
- ・自分の感情のコントロールができるようになった。
- ・見通しを持って準備をしたり調べたりして、自分が困らないよう努力をするようになった。
- ・リーダーとしての自覚と責任感が生まれ、声をかけたり注意をしたりする正義感が強くなった。
- ・人に対する優しさが出てきた。相手に応じた声かけや手助けなど、考えて対応できるようになった。
- ・友だちとの関わりが増え、外で遊んだり会話を楽しんだり、学校生活が充実してきた。

<学習>

- ・自分で考えて計画を立て、進んで学習に向かうようになった。
- ・どんな教科に対しても積極的に取り組むようになり、挙手・発言が増えた。
- ・自分で工夫して学びノートに取り組むようになった。
- ・学習でわからないところやテストで間違えたところを聞いたり調べたりして確認するようになった。
- ・家庭科の調理実習など学んできたことを家でも実践しようとする姿が増えてきた。

【6年生】

<生活>

- ・自主性が出てきており、目標を持って行動することができるようになってきた。
- ・自分自身でやる気を見いだす方法を見つけられるようになってきた。
- ・人との付き合い方が成長した。集団の中で自分がすべきことを考え行動できるようになった。
- ・他者の感情や立場を考えた相手との距離感や自分の言動など、相手を想うことができるようになった。
- ・最高学年としての自覚、リーダーとしての責任感や下学年に対する優しさが見られるようになった。
- ・家の手伝いなど、自分で気がついて行動できるようになった。

<学習>

- ・授業に対する姿勢、挙手や発言を積極的にするようになった。
- ・タブレットを使ったり、自分からすすんで計画を立てたりと、家庭学習を積極的に行うようになった。
- ・学びノートの取組で、自分の好きな教科だけでなく、工夫して継続的に取り組むようになった。
- ・自分の疑問に思うことや気になることを自分で調べるようになった。
- ・テスト前には進んで学習に取り組むことができるようになった。

子どもをよりよく育てるための提案【保護者】※複数意見

<子どもの生活>

- ・通学班が機能していないところがある。集合時刻を守る、高学年が面倒を見る、下学年は協力することなど、学校の指導も必要だが、保護者の声かけや地域の見守りが大切だと思う。
- ・PTAで通学班の話し合いをもったことがよかった。また話ができるとよい。
- ・あいさつができない子どもを見ていると、まず学校と保護者の間で姿を見せていく必要がある。
- ・水泳・校外学習・外部講師などがあった。さらに体験的行事や地域交流等が再開できるとよい。
- ・我が子だけでなく、子どもたち一人一人をよく見てあげることに尽きると思う。

<学校・家庭・地域等との連携>

- ・子供会がなく、楽な反面近所づきあいがなく親の情報交換ができない。近所で集まる機会があるとよい。
- ・学校の様子の発信が少ない。もっと学校の様子がわかること、伝わってくるのがあればうれしい。
- ・朝のあいさつだけでなく、もっとオープンなコミュニケーションの場があるとよい。
- ・地域のイベントに保護者・学校が関わってもっと充実していくとよい。
- ・川島地区の素晴らしい企業などと協力して、地域を学ぶ機会が作れるとよい。
- ・学校の活動は役員だけでなく保護者ボランティアを募るとよい。協力したい保護者は多い。

これらの結果を受け、学校として、次のように進めていこうと考えています。

(1) 子どもにとって安全で安心できる学校づくりを一層推進します。

- ・児童の心身の安全・安心を最優先に考え、全教職員で協力して指導にあたります。登下校の通学時の交通事故や不審者、災害等の危険から身を守ることができるよう指導します。
- ・年間を通じて、教育相談や情報モラル学習などを実施していじめ等のトラブルの未然防止に取り組みます。トラブルが起きたときには、子どもに寄り添った相談支援に努め、保護者との情報共有をすすめます。
- ・登下校時の安全について、次の3点を行います。
 - ①通学班会で確認した内容（集合時刻、登校の約束）を、保護者・見守り隊と情報共有します。

学校では、年4回の通学班会を行っています。3月4日には新しい通学班の会議を行いました。集合時刻、登校の約束などについて確認・指導し、その内容のプリントを持ち帰っています。各家庭でもその約束を確認していただき、わが子の安全な集団登校への指導にご協力をお願いします。今年度途中から学校での通学班会の参観、PTAによる地区での交流会を始めました。情報交流の場としてぜひご活用ください。
*教職員は、勤務時間（8時10分から16時40分）の関係から通学路での指導は難しいことをご理解ください。
 - ②PTAとも連携し、年間を通じて継続した指導を行います。

PTA校外生活委員さんに担当地区の児童の登下校の様子について学校に連絡を、旗当番の保護者さんに気づかれたことをファイルに記述をしていただきました。その様子を校内放送で伝えたり、臨時に個別の通学班会を開いたりしてきており、継続して指導していきます。
 - ③児童玄関の開錠時刻7時45分を継続して、登校のばらつきをなくします。

今年度から児童玄関を7時45分開錠にしたことにより、昨年度までの課題（集合時刻よりも先に一人で登校する、教師不在の状態で過ごす時間が長くトラブルが頻発する、など）が減りつつあります。登校時刻の確認を新通学班会議でも行い、早すぎる、遅すぎる登校を減らし、まとまって登校できるように指導しました。理由があっても車で送る場合も7時45分以降でお願いします。
*通学班の登校時刻が大きく変わることはありません。（学校到着7時45分～8時を目安）

(2) 活動のさらなる再開・充実を図り、自分や仲間のよさや成長を実感できる指導を推進します。

- ・コロナ禍において制限していた活動を、社会状況を見極めながら再開してきました。子どもたちが自分や仲間のよさや成長を無理なく実感できるように、活動の一層の充実を図ります。
- ・学級活動や児童会活動を活性化し、学級や全校の仲間に「自分からすすんで」働きかけ、「みんなと助け合って」よりよい生活を創り出すことを通して、一人一人が活躍し、よさや成長を実感できる学級・学校づくりを一層進めます。
- ・中学校と連携して「人権教育」に取り組み、全教育活動を通して自分・仲間のよさや、よりよくなるうとする自分・仲間を感じることができるよう温かい関係づくりへの指導を継続します。

(3) 児童が自ら学び、仲間とともに創る授業づくりを進め、子どもの学力向上に一層努めます。

- ・仲間と学ぶ楽しさを実感しながら、「できた」「わかった」という充実感や満足感を感じられるよう、ICT（タブレット）を効果的に活用しながら、「自ら学び続ける子」「仲間とともによりよい考えを創る子」の育成をめざした授業づくりに取り組み、学力のより一層の向上を図ります。また、タブレットは使い方指導を12月の個人懇談で保護者の皆様と共有させていただき、正しい使用方法が身に付きつつあります。学校と家庭での同一歩調の指導を継続していきますので、ご協力をお願いします。
- ・家庭学習は、ドリル学習と学びノートを併用し、基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上を目指します。低学年はドリル学習による基礎学力の定着を、中・高学年は、学ぶ意欲の醸成と自ら計画する力の育成を目指した指導を継続していきます。小学校段階においては、家庭でも、学習時間の確保と定着への見届けを丁寧にしていただくことが、学力向上のために重要です。ご協力をお願いします。

(4) 家庭・地域・幼保中と連携を密にして、教育活動の充実を図ります。

- ・川島小学校は、川島学園構想のもと、川島ライフデザインセンター、かわしま学びの庭・育ちの庭、川島東こども園、川島中学校と連携して、12年間での「人間力」の育成に取り組んでいます。各施設が相互に連絡を取り合いながら、連携した教育を進めていきます。
- ・学校や学年の行事、校外学習や授業を支援いただくためにボランティアを募集して多くの方にご協力いただき、子どもたちの学びを支えることができました。今後も家庭・地域と連携して教育活動の充実を図っていきます。
- ・学校だよりや学年・学級通信、学校のホームページ等を活用して、学校の行事予定や連絡、授業の様子や子どもたちのがんばり等をお伝えさせていただいています。今年度はHPでお伝えする回数が減ったため、今後はこまめに発信できるようにします。